

2024 年 2 月 7 日

CDP 気候変動部門で最高評価の「A リスト」に選定されました ～サステナビリティ経営推進への取り組み～

鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：伊藤泰司）は、環境評価を行う国際的な非営利団体である CDP（※1）により、気候変動部門において最高評価である「A リスト」に選定されました。



当社グループは、持続可能な社会を実現するために、社会インフラ建設の担い手として、グループの力を結集し、事業活動の環境負荷低減を進め、脱炭素・循環型・自然共生社会の実現に貢献するという環境方針をたて、取り組みを進めています。また、「TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）」※2 の提言に沿った情報開示にも努めておりカバナンス、戦略、リスク管理及び指標と目標を設定し、事業活動から発生する温室効果ガスの削減対策を進めています。

今後もサステナビリティ経営の推進を重要視し、情報開示の充実を図り、持続可能な社会の実現に向け、社会的価値と経済的価値の両立をめざす取り組みを推進していきます。

※1 CDP (Carbon Disclosure Project)

英国の慈善団体が管理する非政府組織 (NGO) で、世界中の機関投資家・購買企業の要請を受けて、企業の環境情報開示を促進する活動を実施している。

ESG 情報開示の「E」に関するグローバルスタンダードとなっており、2023 年は世界で 23,000 社以上の企業が CDP の質問書を通して環境情報を開示している。

※2 TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures : 気候変動関連財務情報開示)

G20 の要請で金融安定理事会 (FSB) により設立されたタスクフォース。気候変動がもたらすリスクおよび機会の財務的影響を把握し開示することを推奨している。